

体験型サイエンスミュージアム ソニー・エクスプローラサイエンス
『不可能立体ワークショップ』 4/5(土)・6(日)開催
～ PSP『無限回廊』発売を記念して、“だまし絵”の不思議な世界を体験～

ソニーが運営する体験型サイエンスミュージアム「ソニー・エクスプローラサイエンス」(東京都港区台場メディアージュ5F www.sonyexplorascience.jp)では、4月5日(土)・6日(日)の2日間、小学3～6年生を対象に、プレイステーション・ポータブルの錯視パズルゲームソフト『無限回廊』の発売を記念して、『無限回廊』のモチーフになっている不可能立体の世界を体験するワークショップを開催いたします。

講師には、ソニーコンピュータサイエンス研究所の大和田茂氏と、『無限回廊』の原作者である藤木淳氏を迎え、東京大学の杉原厚吉先生が設計した不可能立体のペーパークラフトを組み立てて、その不思議な世界を楽しく学んでいきます。

『不可能立体』とは？

不可能立体とは、「立体に見えて絵に描くことはできるものの、現実には立体として成り立たない」「だまし絵」のことで、オランダの版画家のエッシャーが作品の中で好んで用いた手法です。不可能立体の中には、視点を変えることで立体として成り立つものもあり、そのような立体を発見された杉原先生の設計した展開図を使って、実際に不可能立体を組み立ててみます。また、作った不可能立体と自分を合成して、“だまし絵に”入りこむ体験もできます。

<『不可能立体ワークショップ』実施概要>

タイトル	不可能立体ワークショップ
日時	2008年4月5日(土)・6日(日) 各日 13:00～15:30
実施内容	・不可能立体について解説 ・不可能立体のペーパークラフト製作 ・完成した立体でクロマキー合成
会場	Digital Dream Stage(ソニー・エクスプローラサイエンス内)
対象	小学3～6年生 各日 32名
応募	ホームページより事前申込

締め切り 3月25日(火)

抽選の上、当選者のみに3/31(月)までに参加証を郵送

協力	株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント
----	--

展開図出典 杉原厚吉著『へんな立体』誠文堂新光社

講師 大和田 茂

株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所、リサーチャー。
学生時代からCGの研究に取り組む。近年、これまでの枠組みを越える映像表現、特に不可能物体の立体視をテーマに研究を進めている。



藤木 淳

九州大学所属日本学術振興会特別研究員。錯視や不可能物体等を用いた新しい表現の研究に従事。アート作品として国内外で展示発表も行っている。



『無限回廊』に関して

第10回文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞受賞作品『OLE Coordinate System』をゲーム化。

タイトル：無限回廊™

対応フォーマット：PSP®「プレイステーション・ポータブル」

ジャンル：錯視パズル/CERO：A（全年齢対象）/希望小売価格：3,980円（税込）

タイトル：無限回廊™ -序曲-

対応フォーマット：PLAYSTATION®3（PLAYSTATION®Storeにてダウンロード販売）

ジャンル：錯視パズル/CERO：CERO：A（全年齢対象）/販売価格：1,800円（税込）

©2008 Sony Computer Entertainment Inc. All Rights Reserved.



ソニー・エクスプローラサイエンス

住所：〒135-8718 東京都港区台場1-7-1 メディアージュ 5F

電話：03-5531-2186（一般の方のお問い合わせ先）

公式 URL：www.sonyexplorascience.jp

営業時間：11:00～19:00（最終入場 18:30）

入場料金：一般 大人（16歳～）500円、小人（3～15歳）300円